

第46回 栄村総合文化祭開催!!



「新しい風 新しい出合い 未来を創る」くみんなが主役の栄村くをスローガンに、第46回栄村総合文化祭が10月19日と20日の2日間開催されました。

19日は小中合同音楽会が栄小学校体育館を会場に開催されました。小中学生の元気な声が響き渡り、聴いている私たちも元気になる素晴らしい音楽会でした。

20日は文化会館かたくりホールを会場にみんなのステージが開催されました。今年のスローガンに沿い、未来を創っていくために一度過去を振り返ろうと、開会式の後、特別企画として、今から40年前に作られた「栄村に生きる」の上映会が行われました。この映画がつくられた当時の映画ガイドにこの映画を作った目的として「ふるさとの自然と文化をみなおそう」「誇りをもってPR交流を進めよう」と書かれています。映画が出来て40年が経過し社会情勢も村の様子もずいぶん変わりましたが、村づくりを進めるうえでこの2つの目的は今でも大切なことだと思えます。

午後のみんなのステージでは10組の皆さんの発表が行われました。力強い太鼓演奏、保育園の子どもたちのかわいらしいダンスなどなど、みんなが主役の楽しいステージでした。

また10月5日から20日までは文化週間ということで、村民の皆さんの活動の成果17作品と保育園、小中学校の皆さんの作品が地階から2階までいっばいに展示され、栄村の文化活動の豊かさを十分に実感した文化祭でした。

公民館報

さかえ

第361号

令和6年11月1日発行

- 発行
栄村公民館
〒389-2703
長野県下水内郡栄村
大字堺9214-1
- 電話
0269-87-2100
- 編集
栄村公民館報編集委員会

小中合同音楽会



みんなのステージ



出店!



展示もたくさん!



地域おこし協力隊インタビュー



伊藤早穂子さんの活動について紹介します！



こんにちは。昨年来、地域おこし協力隊インターンとして活動しております。新潟市在住の伊藤早穂子（いとうさほこ）と申します。地域おこし協力隊と言っても、私の仕事は農業や新商品の開発ではありません。私は、栄村で長く暮らしてきた方々のお宅を訪ね、これまで的人生を振り返りながら、野良仕事や家事育児の苦勞と工夫、冠婚葬祭の進め方や地域の行事などについて語ってもらい、記録する「聞き書き」の活動をしています。

私は大学で民俗学を学び、栄村でのフィールドワークをもとに卒業論文を書きましたが、もともと栄村のことを深く知りたいという思いがくすぶっていました。

そうした折、聞き書きを職務内容とする地域おこし協力隊インターン（お試し）の募集がわかり、自分の経験や知識を生かすチャンスだと考え、受けたところ、採用していただく運びとなりました。

これまでに聞いてきたお話は、炭焼き（木炭の製造）の話、各々の自宅で行った結婚式や葬式の話、冷蔵庫がない頃の食品保存方法の話など様々です。

どのような話題でも、数字のデータからは読み取ることのできない、生き生きとしたお話を聞くことができ、大変やりがいを感じています。

栄村のご年配の方は謙遜な方は

かりで、これこれこういうわけでお話を聞かせてくれませんかとお願いますと、「おれなんか、百姓ばっかりしてきただけで、大したこと知らねえすけ」というお返事が返ってくることもしばしばです。

しかし、そういう人ほど、季節の移ろいに敏感で、昔から受け継がれてきた暮らしの知恵を実に深く知っています。私が心から知りたいと思っているのもその「大したことではない」ことなのです。

一人ひとりが、日々の暮らしの中で感じてきた喜びや楽しみ、苦しみや悲しみ。長い時間をかけて培ってきた暮らしの知恵。そうしたものの一つ一つが集まって、現在に至るまでの栄村の歴史が作られているのだという思いを持っています。お話を聞かせていただいています。

取材の進め方、まとめ方などはまだまだ試行錯誤の段階です。「自分は若い頃、家庭を支えるためにこんな苦勞をし、知恵を絞ってきた」「うちのばあちゃんは、昔からの習慣でこういうことを今も続けている」といったお話があります。



役場2階に聞き書きの記録を展示しています。

でしたら、ぜひ教えてください。
(文責：伊藤早穂子)

夏のずく仕事



いくつもの畑を丹念に手入れして、雨の恵みの後大きく育った美味しいミョウガです。

秋の入り口



栗が実り始めました。
秋ですねえ



レンズを通してみる栄(第5回)
ペンネーム：ミルクキャラプキさん(笹原)

グランドゴルフ大会が開かれました!

栄村グランドゴルフ協会(会長:齋藤松太郎さん)が主催する、グランドゴルフ大会が8月25日に農村広場多目的グラウンドで行われていました。この日は10人のゴルファーが集まり、力強いショットを魅せていました。

グランドゴルフは、毎月5日、15日、25日に農村広場多目的グラウンドで練習をしています。大会も定期的に開催しているということですので、ご興味ある方は、5のつく日に尋ねてみてはいかがでしょうか!



あーそんなことがあったんか
〜ど先生の栄村昔語り〜 其の六十五

村定について(その三)



地域史料保全有志の会
鈴木 努 (通称：ど先生)
イラスト作成：佐藤洋平

秋とはいいつつ、10月になっても夏日が続きました。気温の急変に体調を崩す方が多いと聞きます。皆様お大事に願います。さて、これまで「村定メ」の決まり事をお話してきました。日常気をつけていても「村定メ」に抵触してしまうこともありま。今回は、栄村の古文書から、「旅行者宿」をして咎められた事例を紹介いたします。昔話など日暮れに百姓家を訪ねて宿を乞うなどお馴染みの場面ですが、これがなぜ問題になるのか、を探ってみましょう。

天明六年(一七八六)、箕作村で旅者を隠し置いた家がある、と騒ぎになり、同年十月に二軒の百

姓家の者が公儀の仰せや村定に背いたことを詫び、村役人に取り成しを頼む証文を差し出しました。日付と内容が同じ二通の証文には、大体このようなことが書かれています。

御公儀から博奕や宿、殊に旅者を一夜たりとも村方に置いてはならないと仰せ付けられ、村定でも毎春確認されて、背いたら役所に注進されるのが御定法です。しかし心得違いをして旅の者を隠し置き、この度他村より難渋が発生し、役所に通報して御差紙(召喚状)が付くものと難題を言われてしまいました。段々ご詮義に預かりましたのが、このような者相手に宿をしたのは村方に対し一言の申し訳もありません。向後は旅人を一夜たりとも宿らせないので、どうか内々にお済まし願います。この先もし背いたら村定によって役所に訴えられても恨み言を申しません。よって一家の者と五人組頭が印形して一札差し出

します。

前回取り上げた「村定メ」の第七条には、「行衛不知のもの一宿たりとも宿は堅く仕る間敷、仮に前々より出入り来たる商人たりとも一・二夜の外は差し置き申す間敷候、抛ん所なき訳これ有り差し置き候はば名主本へ相断り差図請け差し置く申すべき事」という箇条があり、顔見知りの商人でも一、二泊以上は家に置いてはいけな、理由があつて置いておくなら名主の差図を請けよ、と決められていました。

『秋山記行』には、鈴木牧之の案内役・桶屋の団蔵が行く先々の百姓家で宿を乞う場面があります。たとえば上結東の太右衛門方で宿を頼んだ時は「去年お世話になった塩沢の桶屋です」と名乗り、宿を許されます。牧之は団蔵のおかげで一泊の宿を得られました。また小千谷の豪商だった牧之は身なりも良いはずで怪しまれなかつたでしょうし、出立前には当時の制度に従い小千谷の町役人に旅の目的と期間を届け出、旅中も身元を証明するものを携帯していたと思えます。そうした届出をせず往来手形など証明も持っていない、さらに身なりも怪しいとなると「行衛不知のもの」と思われてしまい、

そうした者に宿を貸せば、村定メに背いたことになるのでしよう。

ところで証文の書かれた天明六年は大秋山などが廃絶した天明飢饉から三年ほどで、飢饉が完全には終わっていない時期です。飢饉に追われて届出や手形の入手なども整わずに家郷を離れ、「行衛不知のもの」となった人は少なくないでしょう。そうした人々を放つてもおかげ宿を貸す場合もあったかも知れません。このことで他村から告発を匂わせる難題を突き付けられますが、この時は村役人の取り成しで事が収まった様子が窺えます。しかし事件になってしまふこともありました。その件はまた機会を改めてお話ししたいと思います。



旅者を隠し置いた詫び証文
(天明六年、島田家文書)

栄村公民館 図書室だより

..... 2024.11

寒い季節がやってきました。みなさん、冬支度の準備は出来ていますか？

いよいよ村内移動図書が始まります。今年は12月5日からスタートし、来年3月までたくさんの本を積んで村内を巡りますので、楽しみに待っていてください。

新着図書の紹介

- ・暗殺 (柴田哲孝)
- ・サンショウウオの四十九日 (朝比奈秋)
- ・バリ山行 (松永K三蔵)
- ・ツミデミック (穂三チ)
- ・**超**筋トレが最強のソリューションである 筋肉が人生を変える**超**科学的な理由 (testosterone)
- ・syunkonカフェごはん8 読むとやる気が出る簡単絶品レシピ (山本ゆり)
- ・イリエワニ 福音館の科学シリーズ (福田雄介)

第171回芥川賞受賞作品と直木賞受賞作品です。

寒い日には暖かい部屋でこたつにあたりながら読書はいかがですか？



栄村公民館図書室の本の貸し出しについて

図書室に来て気になる本をぜひ借りてください。

- ★利用可能者 どなたでもご利用できます
- ★貸出冊数 1人5冊 (新刊は2冊まで)
- ★貸出期間 2週間
- ★返却 図書室のカウンターにお持ちください

図書の破損等について

借りた本を破いてしまった時は直さず職員にお知らせください。

特にセロハンテープなどは経年劣化で変色するため絶対に使わないでください。

★栄村図書室開放時間★

平日 午前8時半～午後5時
 土・日 午前9時～正午
 ※祝日は休館します

★休館日のお知らせ★

11月2日(土)～11月4日(月・祝)
 11月23日(土)～11月24日(日)
 12月21日(土)～12月22日(日)
 12月28日(土)～1月5日(日)





南雲心結さん（月岡・飯山高校2年生）

学校生活も慣れて、毎日友達と楽しい日々を送っています。2年生になって科目選択をするようになりました。私は将来教師になりたいので理系の科目を選び、将来に向けて勉強に励みたいと思います。

陸上部に所属していて、主にやり投げと棒高跳びを日々練習しています。

この前行われた、県大会に棒高跳びで出場し、7位入賞することができました。

これからも、もっと練習を積み重ねて、目標の北信越大会出場を目指して頑張りたいです！



おおきくな〜れ



くだもの大好き!!
大きくなったら、
仮面ライダーガブになりたい!

舜平さん（5歳）

末っ子わがままボーイですが、全力で遊んでたくさん食べて、いろんなことに挑戦しながら健やかに大きくな〜れ♪
島崎晋亮さん・佳美さん宅（小滝）

カエントケにご注意ください!!

日本一危険なキノコと言われるカエントケが栄村でも確認されました。カエントケ（火炎茸）は、誤って食べると中毒を起こして死に至ることもあり、手で触れるだけでも炎症を起こす猛毒のキノコです。

カエントケを見つけた小滝の中沢謙吾さんも初めて見たキノコだったそうです。9月中旬にキノコの様子を見に山に入ったところ群落で発見しました。10月中旬にも確認したところ枯れずに生育していました。11月はきのご採りに山に入る方がたくさんいらっしゃいますが、見つけたら絶対に触らないでください。

他の地域では公園にも発生が確認されています。今のところ栄村で民家周辺に発生した報告はないようですが、お子さんなどが触ったら大変危険ですので、ご注意ください。



〈カエントケの特徴〉

- ・鮮やかな赤色もしくはオレンジ色
- ・円柱状（指のような形）



蜜柑（みかん）が実をつけています!

平滝のお宅で蜜柑がたわわに実っていました。お訪ねしたところ、蜜柑はもう7年も前にご親族からいただいたものだそうです。鉢植えて冬越しなど手を掛けて育てておられます。今年は例年になく実付きが良く、10個も実っていました。もう少し経つと酸味が抜けて食べごろになるそうです。

「にじのたね」の活動を紹介!!



今年の文化祭で展示した、「にじのたね」の作品。栄村の土で作った土器、皆さん見ていただけましたか？栄村（原向集落）の土を採取し、昔からこの土地で行なわれてきたやり方で作ってみました。

今年は土器作りをメインに活動していますが、「にじのたね」は「栄村の子どもたちに、音楽・演劇・絵画などの芸術に触れる機会をつくり、感性豊かな心を育てること」を目的に始まり活動しています。これまでも、ウクレレシンガーを



招いてライブを体感したり、俳優・演出家の方に来ていただき演劇ワークショップをやったりしています。子どもはもちろん、親も一緒に楽しめるようなことを定期的に企画し集まるグループです。

にじのたねは現在10組ほどの親子がメンバーとして活動しています。もちろんメンバーでなくても活動に参加することは可能ですので、興味のある方は一緒に日々の生活に芸術を取り入れてみませんか？ぜひご参加ください。

しめ縄作り講座

日時 12月15日(日)
午前9時30分から

場所 栄村公民館 こらっせ

詳細については後ほどお知らせします！
皆さまのご参加お待ちしております！

今月の一句 ~栄村俳句会~

霧晴れて秋色となる冨の村
秋陽あび歩け歩けの七〇〇歩

山田せき

朝霧の意志もつごとく流れゆく
対岸の赤い電車や秋高し

関谷貞子

一両車果てなく続く芒の穂
六地藏こぼれ咲きたる萩の花

柳 静江

朝霧を透かして見れば月ありて
久に來し秋の海にはヒスイあり

杉浦 仁

月満ちて浴びる明かりの夢のごと
秋の山走り抜け来て笑顔み眩し

杉浦恵子

編集後記

今年は、夏から秋にかけて移り変わりがあまり感じられないほどの残暑が続き、気がつくとも冬になっていそうな感覚です。急に寒くなる日もあったかと思えば、10月下旬なのに夏日になる日もあり、年々進んでいる地球温暖化とそれに伴う気候変動を実感します。

我が家では、ヘチマを育て実からヘチマたわしを作って使っていますが、これが結構使い勝手が良く重宝しています。プラスチックごみの減量、環境に配慮した点から始めてみましたが、使ってみると思いのほか汎用性が高くびっくりしています。ヘチマを育てるのもたわしを作るのもそれほど難しくないのでおすすめです。ただ、実がなりすぎると処理をするのが大変です。

俳句の会への参加や俳句の投稿募集しています！
ご興味がある方は栄村公民館（☎87-3118）までお電話ください。